

■主な意見

- Q. 早い段階で住民の意見を取り入れるべきではないか。
A. 専門的な知識が必要であるため、今まで都市計画審議会を通じて専門家の意見を聞きながら案まで策定した。
- Q. 地域協議会に諮る必要があったのではないか。
A. 諮問が必要な計画ではないが、要請があれば説明していきたい。
- Q. 居住誘導区域を緩やかに集束するものではなく、本気で規制するべきでないか。
A. 規制をかけて急激な市街地の縮小を目指すものではない。
- Q. 高田、直江津の中心部が衰退した要因、課題は何か。
A. 駐車場がない、道路が狭い、除雪が良くないと思う人が郊外に出たことも要因の1つと考えている。
- Q. 結局、中心市街地活性化のための計画ではないか。
A. 対象区域は上越市全域となっているが、それぞれの区域設定は市街化区域の中にしか設定はできないものとなっている。
- Q. 災害の危険性のある地域をもっと規制すべきだ。
A. 災害の危険性のある地域の誘導は、さけるようにしたい。
- Q. 中山間地域はどうなるのか。
A. この計画は都市部のコンパクト化を緩やかに進めるものであり、中山間地域の人々を誘導するものではない。